

群馬は人口10万人あたりのオーケストラ公演回数で全国第2位

～創立80周年の群馬交響楽団は、オーケストラ団体で3位となる公演回数～

- 公益社団法人日本オーケストラ連盟^注によれば、2023年度は全国でオーケストラ公演が3,762回あった。群馬県内では148回の公演があり、人口10万人あたりでは8.1回と全国で2番目に多かった（図表1）。
- 群馬県には、全国で4番目の長い歴史を誇る群馬交響楽団があり、今年11月に創立80周年の節目を迎える（図表2）。
- 2023年度に群馬交響楽団はオーケストラ40団体のうち3番目に多い162回の公演を県内外で行っており、総入場者数は11位の123,400人を数えた（図表3）。群馬県内では136回の公演を行い、このうち88回が小中学校向けの「移動音楽教室」と高等学校向けの「高校音楽教室」となっており、地域の青少年向けに積極的な活動を行っている。

注)プロフェッショナル・オーケストラによる交響管弦楽の振興と普及を図ることなどを目的として1990年に任意団体として設立された組織。2012年からは公益社団法人となり、2025年3月時点で40のオーケストラ団体が加盟している。

図表1 2023年度公演回数

順位	都道府県	人口10万人あたり公演回数	公演回数
1	山形県	11.5	117
2	群馬県	8.1	148
3	東京都	7.7	1,036
4	石川県	6.8	74
5	大阪府	4.7	401
6	京都府	4.5	112
7	滋賀県	4.2	58
8	兵庫県	3.7	193
9	香川県	3.6	33
10	愛知県	3.5	254
全国合計		3.1	3,762

図表2 オーケストラ団体の創立時期
(歴史の古い順)

順位	楽団名	創立年
1	藝大フィルハーモニア管弦楽団	1898
2	東京フィルハーモニー交響楽団	1911
3	NHK交響楽団	1926
4	群馬交響楽団	1945
5	東京交響楽団	1946
6	大阪フィルハーモニー交響楽団	1947
7	九州交響楽団	1953
8	日本フィルハーモニー交響楽団	1956
8	京都市交響楽団	1956
10	札幌交響楽団	1961

資料：公益社団法人日本オーケストラ連盟「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑2024」、総務省「人口動態調査」(2023年)、群馬交響楽団ヒアリングより作成。

図表3 公演総数と総入場者数

公演総数（回）

順位	楽団名	公演総数
1	東京フィルハーモニー交響楽団	330
2	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	163
3	群馬交響楽団	162
4	山形交響楽団	146
5	新日本フィルハーモニー交響楽団	142
6	東京交響楽団	139
7	日本フィルハーモニー交響楽団	132
8	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	125
9	テレマン室内オーケストラ	124
10	九州交響楽団	119
11	東京都交響楽団	116

総入場者数（人）

順位	楽団名	総入場者数
1	東京フィルハーモニー交響楽団	504,356
2	東京交響楽団	217,500
3	NHK交響楽団	186,200
4	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	177,011
5	日本フィルハーモニー交響楽団	175,700
6	新日本フィルハーモニー交響楽団	170,600
7	読売日本交響楽団	147,131
8	兵庫芸術文化センター管弦楽団	145,500
9	東京都交響楽団	144,300
10	札幌交響楽団	125,100
11	群馬交響楽団	123,400

【一〇メモ】

2019年に本拠地を「高崎芸術劇場」に移した群馬交響楽団は、高崎の市民オーケストラが前身であり、その草創期の実話は1955年公開の映画「ここに泉あり」でも紹介されている。「移動音楽教室」に参加した児童・生徒数は、1947～2022年度まで延べ646万人を数える。

(担当：河村英輝)